

2017年2月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 2月の景気判断は、「一部に弱めの動きもみられるものの、基調的には持ち直している」としました。前回1月の判断と変更はありません。
- 個人消費は、大型店の売上動向には大きな変化はない一方、自動車の売行きは引続き回復傾向にあるとみています。観光は依然弱めではありますが、一部に持ち直しの動きもみられています。この間、公共投資は緩やかに増加しており、住宅投資は引続き緩やかに持ち直しています。雇用は改善傾向が続いています。

■個人消費の動向

- 大型店売上高は、1月は前年比▲1.7%と前年実績を下回りました。3か月連続の前年割れです。実勢は、引続き若干弱含みの横ばいとみています。
- 1月の新車登録台数は、前年比▲0.9%と6か月振りに前年実績を下回りました。下押ししたのは軽自動車です。軽自動車は、前年比▲7.1%と3か月連続で前年割れです。軽自動車は、昨年一時プラスに転じたのですが、足もとやや回復にもたつき感があります。一方、軽自動車以外は、前年比+2.1%と6か月連続の増加です。こちらは、新型車の中小型を中心に比較的しっかりした動きになっています。トラックなどの商用車も伸びています。
- 以上からみて、個人消費は、全体としてほぼ横ばい圏内の動きと考えています。

■観光の動向

- 観光は、前月までと比べて多少プラスのデータも見られました。
- 1月の道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数は、前年比▲3.9%

で5か月連続の減少となりました。マイナスに寄与したのは、旭川空港の国際線です。前年比▲57.8%と引続き大幅減少となりました。1月中は定期便は上海便のみで、他に韓国のチャーター便があった程度でした。これを除くと、全体の旅客数(＝国内線)は前年を上回っています。旭川空港の国内便は、前年比+6.1%、女満別空港は同▲0.6%でしたが、稚内空港は同+6.9%、紋別空港は同+21.0%でした。

- 1月のホテル・旅館宿泊者数は、前年比+1.9%と小幅ながら8か月振りにプラスに転じました。1月は観光閑散期ですし、まだまだ一頃のような勢いは戻っていないものの、外国人客が少しずつ戻ってきているほか、天候が安定していたおかげで国内客の入込も悪くはなかったとの声が聞かれています。また、市内ホテルの稼働率も、74.4%と3か月連続で前年水準を上回りました。2月入り後も、冬まつりの人出が増加したこともあり、比較的良い状況で推移しているようです。
- 各地観光は、旭山動物園が前年比+12.6%と伸びたほか、博物館網走監獄(前年比+10.9%)とウトロ温泉(同+4.5%)がプラスに転じたことから、全体で同+4.8%と9か月振りに前年を上回りました。中国の春節期間が昨年比早かった(本年1/27~2/2、昨年2/7~2/13)ことにより、1月中の中国人来客が増えたことも影響したようです。

■公共投資の動向

- 1月の上川、オホーツク、宗谷の3総合振興局における公共工事請負額は、季節的に金額は少ないのですが、前年比2.8倍と大幅に増加しました。この結果、年度初来の累計は、前年比+3.7%と前年実績を上回っています。建設業界では、災害復旧のための工事もあり、人手不足と相まって、各社とも繁忙となっているようです。

■住宅着工

- 12月の新設住宅着工戸数は、前年比+20.6%と大幅に増加しました。持家(前年比+32.6%)、貸家(同+13.7%)とも大幅に伸びています。住宅

着工は、引続き持ち直し基調にあるとみています。

■雇用動向

- 雇用状況を示す指標は、引続きタイトであることを示しています。12月の有効求人倍率は、旭川が0.96倍と8か月振りに1倍を下回ったほか、前年水準も下回りましたが、稚内が1.26倍、北見が1.33倍、網走が1.26倍と引続き高い水準です。12月の新規求人数は、旭川（前年比▲3.3%）、稚内（同▲9.7%）、網走（同▲2.7%）が前年を下回りましたが、北見（同+13.2%）が大幅に増加しましたので、全体では前年比+0.7%と前年を上回りました。

■今後のポイント

- わが国の景気は、昨年央頃にかけてやや鈍さがみられていましたが、秋以降、新興国経済の減速感が和らいだことから、持ち直してきました。日本銀行の景気判断も上げました。
- 個人消費をみると、道北地域の大型店の売り上げは、前述のとおり前年比マイナスが続いていますが、1月の道内百貨店の売上は、初売りが堅調だったほか、外国人観光客による免税品売上が回復したことから前年を上回ったとの報道がありました。全国ベースでも、個人消費は底堅く推移しています。車は道北でも比較的しっかりしていると思われます。今後は、道北においても、大型店の売上が上向いてくるかどうか、景気の底堅さを測る1つのポイントになると思います。
- 観光も微妙なフェーズにあると思われます。道北の観光は、外国人観光客の入込減少に台風による悪影響も加わって、昨年を通じ頭打ち感が拡がりましたが、前述のとおり年明け後は、持ち直しを示す指標もいくつか見られるようになっていきます。こうした傾向が観光シーズン入りに向けて持続するのかに着目したいと思います。
- 公共投資が着実に増えているほか、住宅着工戸数や建築物着工床面積（非居

住用)といった指標も、持ち直し傾向が明確になりつつあります。これらの動向も要注目です。

以 上

景気判断の推移

公表月	日本銀行旭川事務所		日本銀行札幌支店		(参考)北海道財務局旭川財務事務所	(参考)北海道財務局北見出張所
	前回比	道北(上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内)	前回比	全道	道北(上川・留萌・宗谷総合振興局管内)	オホーツク総合振興局管内
2014年9月	→	天候要因等による振れを伴いつつ、基調的には着実に持ち直している	→	緩やかに回復している	持ち直している	消費税率引上げに伴う、駆け込み需要の反動が弱まってきており、緩やかに持ち直している
10月	→	一部に緩慢さを残しつつも、基調的には着実に持ち直している	→	↓		
11月	↓	個人消費等の回復に遅れがみられるが、基調的には持ち直している	→		一部に弱さがみられるものの、持ち直している	一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している
12月	→	↓	↓	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している		
2015年1月	→		→	→	↓	
2月	→	→	→	↓		緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる
3月	→	→	→		↓	
4月	→	→	→	↓		
5月	→	→	→		↓	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる
6月	→	→	↑	緩やかに回復している		↓
7月	→	→	→	↓		
8月	公表なし				↓	↓
9月	→	→	→	→		
10月	→	→	→	→	↓	
11月	→	→	→	→		
12月	→	→	→	→	↓	
2016年1月	→	→	→	→		
2月	→	→	→	→	↓	一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している
3月	→	→	→	→		
4月	→	→	→	→	↓	
5月	→	→	→	→		
6月	→	→	→	→	↓	
7月	→	→	→	→		
8月	公表なし				↓	↓
9月	→	→	→	→		
10月	→	→	→	→	↓	
11月	→	→	→	→		
12月	→	一部に弱めの動きもみられるものの、基調的には持ち直している	→	→	↓	
2017年1月	→	→	→	→		
2月	→	→	→	→	↓	





